

あーばんとーく

- 「地域の力と情熱で進むまちづくり」須磨 (P.1~2)
 - 功労者表彰受賞 (P.3)
 - お知らせ (P.4)
 - ・まちづくりライブラリーからのお知らせ
 - ・1 階・地階ギャラリーの展示予定
- あーばんとーくの感想をおよせ下さい!
発行：こうべまちづくりセンター

「地域の力と情熱で進むまちづくり」

～ 須磨 ～

須磨区では、様々な地域で地元の皆さんが主体となって、まちづくりを進めています。

今回は、それらの取り組みの中で、「須磨駅周辺地区」「須磨北町地区」の2つの地区の活動をご紹介します。



◆須磨駅周辺地区

須磨駅周辺では、地元の地域団体が中心となり、平成13年に「須磨駅周辺地区まちづくり協議会」を設立しました(約4ha、600世帯)。須磨の駅前にふさわしいまちの整備と商店街の活性化の両立をめざし、長期の取り組みとして、「まちづくり構想のとりまとめの協議」を進めるのとあわせて、短期的には、少しでもまちがよくなればと「できることからの具体的な取り組み」を行っています。今回はその具体的な取り組みをご紹介します。

《JR須磨駅前「暫定ロータリー」の整備》

須磨駅周辺は、国道2号線を挟み2つの鉄道駅を擁する交通の拠点ですが、須磨駅前は駅前広場が未整備なため、歩行者と車が錯綜し、交通処理が大きな課題となっています。

同協議会では、当面の取り組みとして、今ある駅前のスペースでロータリーを作り、少しでもこの課題が軽減できないか検討してきました。

関係機関と協議を行い、平成16年2月に社会実験として暫定ロータリーを整備(車道の白線の引き替え)し、暫定期間の1ヶ月の間に交通実態調査やアンケート調査を行い、良好との結果を得ました(平成16年6月号あーばんとーくにも掲載)。これならと、引き続き関係機関と協議を進め、平成18年3月には、期間を限定しない暫定ロータリーを整備することができました。



“平成18年3月からのロータリー利用開始”を伝える地元ニュース

〈整備前〉 歩行者と車が錯綜し、危険!



〈整備後〉 歩行者は安全な所へ。タクシーも整列。



現在は、タクシーや送迎等の車や人の動きがわかりやすくなり、交通の錯綜が減少し、一定の効果が見られていますが、限られたスペースであるため、「ロータリーの大きさがギリギリで回りにくい」とか「もっと停車スペースが欲しい」などの要望もあるのが現状です。まちづくり協議会では、引き続き長期の取り組みとして、誰もが利用しやすい駅前広場のあり方について検討を進めていきます。

◆須磨北町地区

須磨北町地区は、山陽電鉄月見山駅の東側に位置し、山陽電鉄と中央幹線、天井川に囲まれた約4ha、270世帯の地域です。中央幹線に面して店舗や事務所が点在し、その背後には閑静な住宅地や寺院があります。

この地区では、平成15年9月に、中央幹線に面しての高層マンションの建設計画をきっかけとして、住環境の保全を考えるため「須磨北町地区まちづくり協議会」が設立されました。

今回は、「須磨北町地区地区計画」の都市計画決定（昨年11月）に至るまでの取り組みをご紹介します。

《地区計画策定の取り組み》

まちづくり協議会では、これからのまちの住環境をまもり、育てるためには、自分たちのまちをまず知ることから始めようと、住民によるタウンウォッチングや住民アンケートを行い、現況の把握と課題の抽出を行いました。



タウンウォッチングの様子

次に、コンサルタントのアドバイスを受けながら協議会役員が中心となって議論を深め、当地区のまちづくりには、まちの住環境を維持するためには、建物の用途や大きさ等の建て方のルールづくりが必要であり、そのためには「地区計画」によるまちづくりが最も有効な方法であるとの認識で一致しました。そして、平成16年6月に、地区計画案を作成するための住民アンケートを実施し、その後、地区計画案について住民や地権者等へ意向調査を行いました。



地区の課題検討の様子

これらの結果をふまえ、平成17年3月に臨時総会で地区計画の地元案を決定し、神戸市に要望書を提出しました。その後、神戸市と協議を重ねて地区計画の内容を明確にし、地区計画案の縦覧

手続き等を経て、平成17年11月に「須磨北町地区地区計画」が都市計画決定されました。

当地区では4種類の用途地域が都市計画として決定されていますが、「須磨北町地区地区計画」では、それぞれの用途地域の制限に上乗せして、地区の環境に調和した土地利用をきめ細かく誘導できる建築のルールを定めています。

例えば、中央幹線に面した「沿道サービス地区A」「沿道サービス地区B」では、ホテル、ぱちんこ屋、工場などを禁止するとともに、建築物の高さをそれぞれ24m、20m以下に制限しています。また、「住宅地区A」「住宅地区B」では、床面積が500㎡を超える店舗、一部の立体駐車場を禁止するとともに、建築物の高さを12m以下に制限しています。

〈用途地域と地区計画の区分〉



※ () 内は用途地域名の略称

(1 中高) 第一種中高層住居専用地域 (1 住居) 第一種住居地域
(2 住居) 第二種住居地域 (近 商) 近隣商業地域

同協議会では、これまで住環境の保全を図るために地区計画を策定することを主な活動目的としてきましたが、今後は、北町をよりくらしやすいまちにするため、地区計画を基本として、より視野を拡げて「まちづくり構想の策定」に取り組むとともに、日常生活に密着した具体的なまちの改善や住まい方の検討などにも活動を拡げようとしています。

(須磨区まちづくり推進課)

「神前町まちづくり協議会」、「湊川町1・2・3・4丁目まちづくり協議会」 全国市街地再開発協会から功労者表彰を受賞

神前地区、湊川町東部地区の住宅市街地総合整備事業（密集住宅市街地整備型）の事業が完了し、両地区のまちづくり協議会が5月29日、これまでの住環境の整備改善に関するまちづくりの取り組みに対して、全国市街地再開発協会から表彰されました。

1. はじめに ～復興に向けて～

灘区かみまえの神前地区、兵庫区の湊川町東部地区は、阪神・淡路大震災により6～8割の建物が全壊・焼失するなど大きな被害を受けました。震災前、地区内には2～3m程度の幅の狭い道路しかなく、また、道路に接していない建物が多く存在していたため、建物を個別に再建することが困難な状況でした。

そこで、地域で力をあわせて復興のまちづくりに取り組むため、震災直後にまちづくり協議会が発足し、協議・検討を重ね、地域の課題を抽出し、整備方針を定めました。

2. 事業の実施へ

しかし、震災後は、住民の多くが仮設住宅などへ避難している状態で、地域全体の住民の意見を集約するのに時間を要したことや、国庫補助事業が確立されていなかったことなど、まちづくりの事業化までには様々な困難が待ち受けていました。これらの課題解決のため、挫折感を味わいながらも、その都度立ち上がり、住民・行政・コンサルタントが一丸となって協働のまちづくりに取り組みました。何よりも、「災害に強いまちにしたい」という熱い思いが、課題解決への道を切り開きました。

こうして、平成8年から、住宅市街地総合整備事業や土地区画整理事業を活用し、復興のまちづくりを進めました。なかでも、既成市街地での組合施行方式による土地区画整理事業は、全国的にも画期的な取り組みでした。

そして、平成18年3月、両地区とも無事に住宅市街地総合整備事業の完了をむかえました。

3. おわりに

両地区におけるまちづくりは、都市部における震災等の災害復興のまちづくりとして、大変貴重な実績を残すものです。

表彰を受けて、両会長は、「震災前の神前地区、湊川町東部地区のような地域は、まだまだたくさんあると思います。今後、大きな災害が発生する前に、このようなまちづくりの機運が広がっていけば」とおっしゃっていました。

(都市計画総局地域支援室)



区 域		灘区神前町 1～4 丁目 (面積：5ha)
主な整備内容	密集事業	・生活道路(2路線) ・神前ふれあい公園(620㎡)
	土地区画整理事業	・施行面積(0.5ha) ・区画道路 (幅員 4.5m、2路線)



神前ふれあい公園



受賞写真



区 域		兵庫区湊川町 1～4 丁目 (面積：7ha)
主な整備内容	密集事業	・共同住宅(ピースコートⅠ・Ⅱ) ・生活道路(5路線)
	土地区画整理事業	・施行面積(1.5ha) ・区画道路(幅員 4m、6路線) ・地権者の同意により敷地の位置を変更・集約し、共同住宅用地を確保。



ピースコートⅠ・Ⅱ



受賞写真

まちづくりライブラリーからのご案内

まちづくり会館 4 階のまちづくりの専門図書館「まちづくりライブラリー」では、一般の方々、特にまちづくりに関心のある方々に、図書・資料・ビデオ等を用意してお待ちしています。当館での閲覧だけでなく貸出し（一部のものを除く）も可能ですので、お気軽にご利用ください。

◇蔵書…都市計画、都市開発、再開発、建築、住宅、
景観などの図書、阪神・淡路大震災に関する資料、
神戸市行政資料など。

◇貸出…貸出申込書に氏名・住所を確認できるものを添えて、カウンターにお申し出ください。
一部のものを除き 2 週間 3 冊まで貸出します。

◇受付…午前 10 時～午後 6 時（水曜日休館）



<新着図書のご案内>

図 書 名	著 者	発 行 元
全国の地域施策・支援事業が読める地域づくりハンドブック 2006	地域づくりハンドブック 2006 編集委員会	ぎょうせい
日本住居史	小沢 朝江・水沢 淑子	吉川公文館
地域再生に金融を活かす-公民連携の鍵をにぎる金融の役割	根本 拓二	学芸出版社
いまこそ地域カー東灘区のまちづくり最前線	チーム東灘	神戸新聞総合出版センター
神戸の残り香	成田 一徹	神戸新聞総合出版センター

まちづくり会館展示のお知らせ

1階オープンギャラリーの予定

期 間	内 容 ・ テーマ	主 催 者
8月17日(木)～31日(木)	埋蔵文化財センター講座の案内	教育委員会文化財課
9月 1日(金)～30日(土)	建築のルール	都市計画総局建築指導部安全対策課

地階ギャラリーの予定

期 間	内 容 ・ テーマ	主 催 者
8月24日(木)～29日(火)	油絵グループ展	朝日カルチャー教室
8月31日(木)～9月5日(火)	回転ドアの仲間たち・油彩展	回転ドアの仲間たち 高田銃郎
9月 8日(金)～12日(火)	劉 素真 と 神戸墨酔会展	神戸墨酔会

すまい・まちづくりのご相談は

- すまい・まちづくり人材センター（まちづくり会館 3F）
電話 078-361-4523 ・FAX 078-361-4546
受付は、午前 10 時～午後 5 時（水曜日休館）
※土・日・祝日のご相談、JIBANKUN の閲覧については、事前にご連絡ください。

自治会活動などのご相談は

- すまい・まちづくり人材センター（まちづくり会館 4F）
自治会の運営等の相談、会報等の印刷サービス

電話・FAX 078-361-4565
受付:午前 10 時～午後 6 時（水曜日休館）
ただし印刷は、5 時まで



最寄駅

- 地下鉄海岸線 みなと元町駅西口から 1 分
- 高速 花隈駅東口から 3 分
- 高速 西元町東口から 5 分
- JR・阪神 元町駅西口から 8 分